

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ
 どよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2019年7月5日(金) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	採血 時刻	備考
R950 1	スチリペントール 3L235-0000-022-205	血漿 0.3	PH5 (G) ↓ A00 (X)	冷蔵 (28日)	5~11	特	LC/MS/MS	($\mu\text{g}/\text{mL}$)		ディアコ ミット &ヤ
R951 9	ルフィナミド 3L240-0000-022-205	血漿 0.3	PN2,PN5 (C) ↓ A00 (X)	冷蔵 (28日)	3~9	特	LC/MS/MS	($\mu\text{g}/\text{mL}$)		イノペロ ン &ヤ

(特) 特定薬剤治療管理料

● スチリペントール

スチリペントールは、クロバザムおよびバルプロ酸ナトリウムで十分な効果が認められないドラベ（Dravet）症候群患者における間代発作又は強直間代発作に対する、両剤との併用療法に用いられる抗てんかん薬です。

ドラベ症候群は、生後1歳未満に発症することから、乳児重症ミオクロニーてんかんの名称でも知られています。入浴や発熱で誘発されるけいれん発作と、薬物治療への抵抗性を特徴とする難治性のもてんかん症候群であり、発達などへの影響を伴います。

本項目は、LC/MS/MSによりスチリペントールの血中濃度を測定いたします。血中濃度のモニタリングは、服薬コンプライアンスの評価の他、投与量の調整を行う際の指標として有用です。

● ルフィナミド

ルフィナミドは、他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないレノックス・ガストー（Lennox-Gastaut）症候群における強直発作及び脱力発作に対する、他剤との併用療法に用いられる抗てんかん薬です。

レノックス・ガストー症候群は、幼児期から小児期に発症する難治性のもてんかん症候群であり、複数種類のもてんかん発作が出現するほか、発作が頻回に発生し、ほぼ全例で発達に影響を伴うことが特徴とされています。

本項目は、LC/MS/MSによりルフィナミドの血中濃度を測定いたします。服薬コンプライアンスの評価、薬物相互作用による影響、肝機能低下および食事の影響の確認、投与量の調整を行う際の指標となります。

▼疾患との関連

ドラベ（Dravet）症候群
レノックス・ガストー（Lennox-Gastaut）症候群

▼検査要項

検査項目名	スチリペントール	ルフィナミド
項目コードNo.	R950 1	R951 9
検体量	血漿 0.3 mL	血漿 0.3 mL
容器	PH5 (G) ヘパリン入り → A00 (X) ポリスピッツ	PN2,PN5 (C) EDTA-2Na入り → A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	冷蔵保存してください	冷蔵保存してください
所要日数	5~11 日	3~9 日
検査方法	LC/MS/MS	
基準値	($\mu\text{g/mL}$)	
検査実施料 判断料	特定薬剤治療管理料 投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。	
採血時刻		
備考	ディアコミット &7	イノベロン &7

●参考文献

Deeb S, et al : J Anal Toxicol 38 (8) : 485~494, 2014. (検査方法参考文献)
Fisher JL : Epilepsia, 52 (Suppl. 2) : 76~78, 2011. (スチリペントール臨床的意義参考文献)
Perucca E, et al : Epilepsia 49 (7) : 1123~1141, 2008. (ルフィナミド臨床的意義参考文献)